

# 令和8年度 神戸大学法学部編入学試験問題

令和7年11月1日実施

## 論文（法学概論）

〔第1問〕

ADR（裁判外紛争解決手続）とは何か、例を挙げて説明した上で、裁判ではなくADRによることのメリットにはどのようなものがあるか、説明しなさい。

〔第2問〕

(1) 意思能力とはどのようなもので、これを欠く者がした法律行為が無効とされる理由は何か、説明しなさい。

(2) 行為能力制度（制限行為能力者制度）の内容及びこの制度が必要とされる理由について、意思能力と対比しつつ説明しなさい。

# 令和8年度 神戸大学法学部編入学試験問題

令和7年11月1日実施

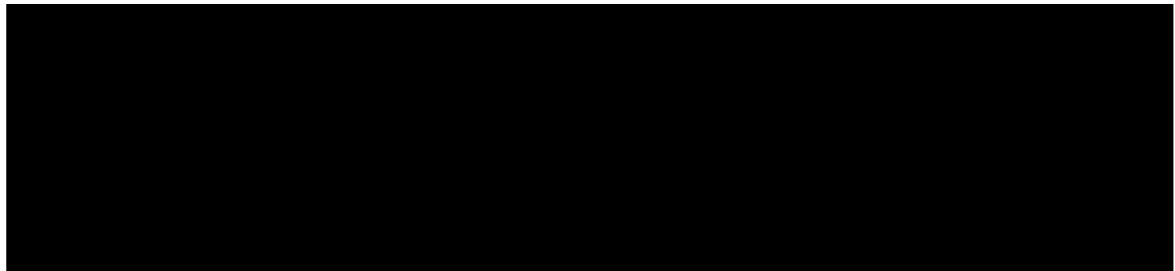
## 論文（一般教養）

1) 下記二つの文書を読んだうえで、「同盟のジレンマ」および「安全保障のジレンマ」の意味について、自分の言葉を用いながら200字以内で説明しなさい。その際、歴史上の各ジレンマの実例を一つ挙げることを。

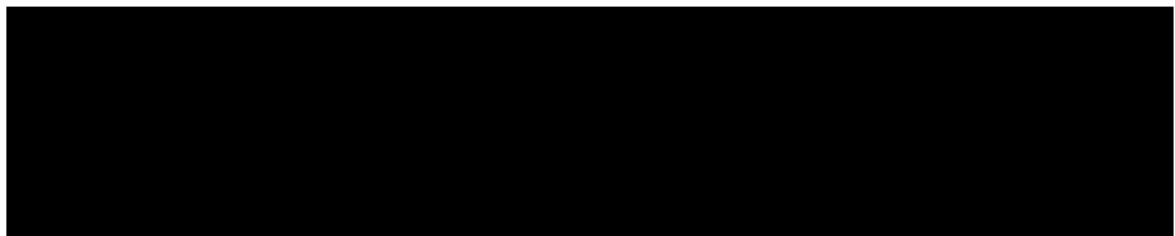
2) 現在日本が直面している対外的な安全保障上の脅威が何であるか（二つ以上）に加えて、その理由について300字以内で説明しなさい。

3) 日本の唯一の同盟国は米国であるが、現在日本を取り巻く安全保障情勢ならびにトランプ政権の対外政策を踏まえつつ、日本の安全保障を担保するために取るべき政策を500字以内で説明しなさい。その際、上述の「同盟のジレンマ」と「安全保障のジレンマ」の概念を用いること。ただし、下記文献に限定されることはなく、適宜根拠を示しながら自らの考えを述べなさい。

### 【文章1】



### 【文章2】



北井邦亮『日米ガイドライン—自主防衛と対米依存のジレンマ』中央公論新社、2024年〔原文の一部を省略〕